

「圃場でオミクスデータを収集するための技術開発」

岩田 洋佳（東京大学大学院 農学生命科学研究科 准教授）

近年のオミクス技術の発展により、現在では、圃場で生育する植物について様々なオミクスデータを収集することが可能となっている。我々は、圃場で生育する植物からオミクスデータを収集し、得られたオミクスデータを用いて植物環境応答をモデル化するための研究開発を進めている。例えば、ドローンや画像を用いた地上部・地下部のフェノーム解析、葉の小片を用いたイオノーム・メタボローム解析、根圏をもちいたメタメタボローム・メタゲノム解析などを実施している。本発表会では、圃場で生育する植物から各種オミクス情報を収集するための技術について紹介するとともに、それらを利用した育種や栽培管理についてその展望をお話する。